

新春能番組

能の解説 武田 宗典 × 桂 春蝶
囃子の解説 囃子方 × 桂 春蝶

十四時三十分頃

仕舞

白楽天 住吉明神 大槻 文藏
羽衣 天女 山階彌右衛門

大槻 裕一
井戸 良祐
大西 礼久
武田 祥照

地謡

休憩

十五時頃

能

義経 味方 遥 能
静御前・知盛ノ霊 林本 大

船弁慶

前後之替

間 船頭 善竹 隆平

後見 山階彌右衛門
林 宗一郎
武田 祥照

地謡

河村 紀仁 武田 宗典
大槻 裕一 吉井 基晴
笠田 祐樹 山本 博通
今村 哲朗 味方 団

終了予定十六時過

出演者プロフィール

あらすじ



■大槻 文藏 おおつき ぶんぞう
人間国宝。シテ方観世流。1942年生まれ。祖父十三、父秀夫および、観世寿夫、八世観世鏡之丞に師事。紫綬褒章、旭日小綬章、日本学賞など受賞多数。大阪能楽養成会副会長、大阪文化芸能国民健康保険組合理事長、公益財団法人大槻能楽堂理事長。2016年に重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)。



■山階彌右衛門 やましな やえもん
シテ方観世流。重要無形文化財総合指定保持者。二十五世観世宗家 観世左近次男。2007年十二世山階彌右衛門襲名。(一社)観世会 副理事長。(一財)観世文庫 常務理事。国立能楽堂養成副主任講師。令和二年「第四十回 伝統文化ポラ賞」優秀賞受賞。海外公演にも多数出演。



■三島 元太郎 みしまげんたろう
人間国宝。太鼓方金春流。1936年大阪生まれ。父三島太郎および前川宗閑、柿本豊次、金春惣右衛門に師事。2006年旭日双光章、2010年観世寿夫記念法政大学能楽研究所催花賞受賞。2014年重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)。国立能楽堂三役研修講師。大阪能楽養成会主任講師。吹田在住



■林本大 はやしもと だいでい
シテ方観世流。公益社団法人能楽協会会員。1977年生まれ。吹田市在住。能 meets代表。十二世山階彌右衛門師に師事。文楽・茶道・落語・講談・浪曲の若手演者の集い「霜(そう)乃会」を結成。全国的に講演を行う「能 meets」を展開。平成30年自身の芸道研鑽の為の自主公演「大の会」を立ち上げ、本格的な能公演を企画。

チケットご購入の対象講座

お能をもっと楽しく鑑賞していただく為の「船弁慶」の解説講座

日時 12月23日(木) 10:30~12:00 場所 第一会議室
講師 林本大 定員 先着25名(11月17日(水)より)
お申込み先 メイシアター 06-6386-6333

源平合戦で平家を壇ノ浦まで追い詰め、源氏を勝利へと導いた源義経(子方)も、その後、兄頼朝と不和になってしまふ。彼は兄との争いを避け、武蔵坊弁慶(ワキ)や僅かな家臣たち(ワキツレ)を連れ、夜の都を落ち延びる。瀬戸内海の大物浦に着いた義経一行は知人の船頭(アイ)に船の手配を頼み、彼の家を借り休息する。その時弁慶は義経に進言する。この道中義経を慕い後を付いてきた静御前(前シテ)を都へ帰してはいかかと言ふのだ。弁慶は静の宿所へ向かい、彼女を呼び出すと、都への帰還を指示する。なおも供を続けたいと嘆く静は、直接義経に返事をしようとするも、静に酒を勧める義経。それは、門出の酒宴でもあり、別れの盃でもある。そんな彼に、静も旅の前途を祈念し、烏帽子を身につけて

誦い、再び世に出る日は必ずやって来るはずと、愛する義経の前途を祈り、静は門出の舞を舞いはじめる。旅立つ一行を見届けた彼女は、舞の装束をそつと脱ぎ、ひとり涙に沈むのだった。(中入) 義経は悪天候を懸念し、出発の延期を指示する。その言葉に、さしづめ静に未練があるからだとい異を唱える弁慶は今日の船出を決行してしまふ。 天候はますます悪化し、異様な雰囲気に包まれた辺り。壇ノ浦で滅んだ平家一門の亡霊が、行く手の海上に現れた。 安徳天皇を中心に、勢揃いした平家一門の亡霊たち。やがて、その中でもひとときわ妖気を放つ、一人の武将が見えてきた。彼こそ、滅びゆく一門の全てを見届けて壇ノ浦の藻屑と消えた、総大将・平知盛の怨霊(後シテ)であつた。